

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公表番号】特表2013-538856(P2013-538856A)

【公表日】平成25年10月17日(2013.10.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-057

【出願番号】特願2013-531769(P2013-531769)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/21	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/166	(2006.01)
A 6 1 K	31/395	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/435	(2006.01)
A 6 1 K	31/44	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/66	G
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	31/166	
A 6 1 K	31/395	
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	39/395	E
A 6 1 K	31/435	
A 6 1 K	31/44	
A 6 1 P	43/00	1 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象におけるメラノーマの治療のための医薬組成物であって、R a s - R a f - M E K - E R K 経路におけるプロテインキナーゼの阻害剤、及びインターフェロン を含む、前記医薬組成物。

【請求項2】

前記阻害剤が、M E K 阻害剤である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項3】

前記阻害剤が、N - [(2 R) - 2 , 3 - ジヒドロキシプロポキシ] - 3 , 4 - ジフルオロ - 2 - [(2 - フルオロ - 4 - ヨード - フェニル) アミノ] ベンズアミドである、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項4】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 a である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記インターフェロン 1 a が、ペグ化インターフェロン 1 a である、請求項 4 記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 b である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記インターフェロン 1 a が、ペグ化インターフェロン 1 b である、請求項 6 記載の医薬組成物。

【請求項 8】

対象におけるメラノーマの治療のための医薬組成物であって、アルキル化薬、及びインターフェロン を含む、前記医薬組成物。

【請求項 9】

前記アルキル化薬が、4 - メチル - 5 - オキソ - 2 , 3 , 4 , 6 , 8 - ペンタザビシクロ [4 . 3 . 0] ノナ - 2 , 7 , 9 - トリエン - 9 - カルボキサミドである、請求項 8 記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 a である、請求項 8 記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記インターフェロン 1 a が、ペグ化インターフェロン 1 a である、請求項 10 記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 b である、請求項 8 記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記インターフェロン 1 a が、ペグ化インターフェロン 1 b である、請求項 12 記載の医薬組成物。

【請求項 14】

対象におけるメラノーマの治療のための医薬組成物であって、インターフェロン を含む、前記医薬組成物。

【請求項 15】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 a である、請求項 14 記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記インターフェロン 1 a が、ペグ化インターフェロン 1 a である、請求項 15 記載の医薬組成物。

【請求項 17】

前記インターフェロン が、インターフェロン 1 b である、請求項 14 記載の医薬組成物。

【請求項 18】

前記インターフェロン 1 a が、ペグ化インターフェロン 1 b である、請求項 17 記載の医薬組成物。